

科目名 (英)	Air Basic	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Air Basic	授業 形態	講義・実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科					曜日・時限	木曜日・1時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
美容業界にて大手美容室勤務を経て美油脂を対象とした教育に携わり、ブライダルヘアメイクとして新郎新婦のヘアメイクだけではなく心に寄り添う接客を心がけ、その他ブライダルファッションショーやFACO(福岡アジアコレクション)等でヘアメイクを担当した実績のある専任教員が、自分のパーソナルカラーを活かしたエアラインヘアメイクや接客における所作を身に着けられるよう講義や実習で実施する

【到達目標】  
自分に合ったエアラインヘアメイクができる。接客における所作を身に着けることができる。自分のパーソナルカラーを知る事ができる。パーソナルカラーを使ったメイクや着こなしができる。

授業計画・内容	
4月15日	オリエンテーション 講師自己紹介 生徒自己紹介 用意する物等、これからの授業説明
4月22日	自分のパーソナルカラーをフォーシーズンで知る事ができる
ゴールデンウィーク【4/29(木)～5/5(水)】	
5月6日	エアラインメイク ベースメイクができる
5月13日	エアラインメイク アイブロウができる
5月20日	エアラインメイク アイブロウまでの確認～アイメイクができる
5月27日	エアラインメイク アイメイクまでの確認～チーク・リップできる
6月3日	エアラインメイクができる (仕上げ)
6月10日	エアラインヘアーができる (デモスト～実習)
6月17日	エアラインヘアメイクができる
6月24日	綺麗ナスーツの着こなしができる
7月1日	接客における所作が身につけることができる (身だしなみや立ち居振る舞い、話し方やどのように見られるかをディスカッション)
7月8日	私服の似合わせができる
7月15日	エアラインヘアメイク確認と授業の復習
夏季休暇【7/19(月)～8/24(火)】	
8月26日	★評価週 定期テスト
9月2日	★まとめ・追試/再試 テスト答え合わせとまとめ
準備学習 時間外学習	特になし
評価方法	定期テスト
受講生への メッセージ	気になる企業の傾向を踏まえ、自分に合ったヘアメイクができるように、実習しましょう。接客における所作を身に着けられるよう、解らない事を解らないままにせず、質問して下さい。メイクに慣れるよう、復習の意味も込めて、できる限り毎日メイクして下さい。授業で配布した資料は毎回必ず持って来て下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	SPI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科				2	曜日・時限	金曜2限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

従業員採用・教育分野で25年培った、新人育成の知見と、7年間の小中学生への学習指導で得た知見のある専任教員が、航空業界入試一次試験に合格するために必要な、算数・国語読解力を指導します。どの授業よりも、授業実施前の個人差が大きい内容であることを鑑み、個別指導に力点を置くとともに、学生間相互の学び合いを通じて、コミュニケーションを密にし、学生自身の自主性・伝達力強化も行います。

【到達目標】

- ①どの問題も時間内に50%以上の正答ができる
- ②全員、志望企業の一次試験を早期に突破できる

#### 授業計画・内容

1回目	四則逆算のルールを理解することができる	
2回目	四則逆算の基本問題を解くことができる	
3回目	四則逆算のルールを理解することができる	
4回目	四則逆算の基本問題を解くことができる	
5回目	予想問題の問題1～問題15までを理解できる	
6回目	予想問題の問題1～問題15までを解くことができる	
7回目	予想問題の問題1～問題15までを時間内に半分以上、解くことができる	
8回目	予想問題の問題16～問題35までを理解できる	
9回目	予想問題の問題16～問題35までを解くことができる	
10回目	予想問題の問題16～問題35までを時間内に半分以上、解くことができる	
11回目	予想問題の問題36～問題50までを理解できる	
12回目	予想問題の問題35～問題50までを解くことができる	
13回目	予想問題の問題35～問題50までを時間内に半分以上、解くことができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	日々自宅学習を行ってください	
評価方法	期末テスト100%	
受講生への メッセージ	本講義は、一次試験に必要な計算スキルを身に着けます。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	TOEIC対策	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	
	TOEIC	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科					曜日・時限	水曜3限

【授業の学習内容】

TOEIC600点を超えられる英語力の養成を目指す。新一年生がTOEICの出題傾向に慣れ、それにふさわしい語彙力、文法力、長文読解力、リスニング力を身につけられるよう、親しみやすかつ実用性の高い書き込みノート式の問題集を用いて徹底して演習する。また、英語力向上には、自ら発声・音読して英語の音に慣れ親しむことが大切なので、口、耳、手、目など五感をしっかり使った授業を展開する。

\* 実務経験：プロの翻訳者・通訳者としての経験多数あり。翻訳書「セラピューティックタッチの技法」「レイキ完全本」 通訳経験：環太平洋子ども環境サミット(2005年度 沖縄)、日本人間ドック会議(2007年度 沖縄)にて同時通訳。地元西新で2012年より受験生などの英語指導。卒業生には九州大、上智大、同志社大、東京女子大など。

【到達目標】

一年目の前半は、TOEICに頻出するビジネス用語や基本動詞など語彙をできるかぎり増やし、出題傾向にざっと慣れてもらうことを目標にする。やや難易度の低い問題であれば5割程度で得点できるようにすることを目標にする。

授業計画・内容

1回目	自己紹介とTOEICテストの意義:お互いのうちとけて、これからの学習目標のイメージをつかんでもらうことができる。	
2回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
3回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
4回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
5回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
6回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
7回目	翌週のテストの範囲の確認と対策をすることにより、全員がしっかりと学びの復習をすることができる。	
8回目	中間テスト:これまでの学習の到達度や課題を知ることができる。	
9回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と文法力、聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
10回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と文法力、聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
11回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と文法力、聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
12回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と文法力、聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
13回目	問題集と単語ドリルの演習をすることで、語彙力と文法力、聴解力を高め、TOEICテストへの基礎を身につけることができる。	
14回目	★評価週	期末テスト:これまでの学習の到達度と今後の課題を知ることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テストの講評と復習により、来期の課題を自覚してもらうことができる。
準備学習 時間外学習	毎回授業の始まり時に、前回の授業で学んだ内容をミニテスト形式で問います。しっかり復習をすることが大切です。	
評価方法	中間テスト30パーセント。 期末テスト70パーセント。	
受講生への メッセージ	英語は、耳でよく聴き、口でよく真似てしゃべって、目で読んで、手を動かして書き取って、というふういろいろな感覚を総動員してやっと上達への道ができてきます。すぐに結果が出るわけではないかもしれませんが、楽しく毎日コツコツやるうちに一年後にはきっと違った風景が見えるのです。一緒にがんばってTOEICの山をのぼりましょう。	

【使用教科書、教材、参考書】

「TOEIC書き込みノート 単語&熟語編」「TOEIC L&R 出る単特急 金のフレーズ」など。

科目名 (英)	アソシエイトホスピタリティコーディネータ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松岡 尚美
	Associate Hospitality Coordinator	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科			曜日・時限	金曜日・4限目		

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
日本ホスピタリティ推進協会のホスピタリティ・コーディネータ教本をベースに、ホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いなど、ホスピタリティについて学びます。

※実務者経験：1989年4月～1993年9月まで、藤田観光(株)小倉ワシントンホテル フロント課に配属。  
2017年3月 日本ホスピタリティ推進協会認定「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

- ①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得する。
- ②日本ホスピタリティ推進協会認定「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得する。

授業計画・内容	
1回目	ホスピタリティとサービスの違い・語源 プロフェッショナルから学ぶホスピタリティの極意(動画視聴)
2回目	ホスピタリティの実践①(適切な笑顔、身だしなみ、立ち居振る舞いができる)
3回目	ホスピタリティの実践②(適切な会話、傾聴姿勢、言葉遣い、対応をすることができる)
4回目	ホスピタリティの歴史と文化、日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性を理解することができる。
5回目	「相手の立場に立つ」ことの意味を理解することができる。
6回目	心のバリアフリーについての映像を基に理解することができる。
7回目	★中間テスト実施 ホスピタリティの定義を説明することができる。
8回目	ホスピタリティ業界と顧客満足の関係を理解し従業員満足につながるリーダーシップをとることができる。
9回目	お客様へのアフターフォローを学び、ホスピタリティを基に顧客満足を獲得することができる。
10回目	ホスピタリティを将来の職場で活かす企画・アイデアをグループワークをもとに考案することができる。
11回目	ホスピタリティを将来の職場で活かす企画・アイデア(プレゼンテーション)を自身の考え方を提案することができる。
12回目	自分自身でホスピタリティ・マインドの育て方を知ることができる。
13回目	ホスピタリティのまとめ 社会人に向けて実践していくことを理解し、業界を目指すことができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に付けるためには、自分自身がお客様になってホスピタリティを体験することや、日頃から意識して「相手の立場に立つ」ことを考え、行動してください。また、ホスピタリティに関する書籍を自ら進んで読み、ホスピタリティ・マインドを高めてください。
評価方法	●中間テスト(20点) ●定期テスト(80点) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされています。本講義では、ホスピタリティについて学び、「相手(顧客)の立場になって考え、行動できる」力を身に付け、業界の即戦力になりましょう！授業で配布された資料はファイリングするなど必ず各自で保管をし、毎回持参してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：ホスピタリティ・コーディネータ教本 日本ホスピタリティ推進協会 参考書：林田正光著 図解版ホスピタリティの教科書 あさ出版	

科目名 (英)	アマデウスシステム amadeus system	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本航空のグランドスタッフとして国内線・国際線業務を担当した後、アマデウス認定インストラクターの資格取得。即戦力となるアマデウスの初級検定合格に向けて授業を実施します。							
【到達目標】 業界用語、3レターを用いた上でアマデウスの成り立ちや基礎を理解できるようになる。フライトの予約を取られるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	アイズブレイク/検定や中間期末テストについての説明/GDSとは・アマデウスとはを理解できるようになる	
2回目	3レター・業界用語(基礎)について理解できるようになる/月の入力方法・ヘボン式ローマ字入力ができるようになる	
3回目	コード検索・都市コード・空港コード(DAN, DAC)とその見方について理解できるようになる	
4回目	国コード(DC)・州コード(DNS)・機材(DNE)・航空会社コード(DNA)検索とその見方について理解できるようになる	
5回目	空席照会(基本)とその見方について理解できるようになる	
6回目	空席照会オプションを使えるようになる/中間テストに向けて復習	
7回目	<b>中間テスト</b>	
8回目	中間テストフィードバック/空席照会後のショートカットエンリを使えるようになる	
9回目	フライト予約(1区間のみ)ができるようになる、1区間ずつ複数のフライト予約ができるようになる/IGIについて理解できるようになる	
10回目	ロングセルエンリにてフライト予約できるようになる/乗り継ぎがあるフライトの予約ができるようになる(not往復)	
11回目	乗り継ぎがあるフライトをクラス違いで予約できるようになる	
12回目	アクセスレベルについて理解できるようになる/ダイレクトアクセスができるようになる	
13回目	タイムテーブルとその見方について理解できるようになる	
14回目	★評価週	期末テストに向けて前期の復習
15回目	★まとめ・追試/再試	<b>期末テスト</b>
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50点)、期末テスト(50点)の合計点	
受講生への メッセージ	航空業界で使用する予約システムの授業です。専門知識で聞きなれない言葉も多くできますので、初めは難しいと感じることもあると思います。ですがアマデウスの基礎知識を付け、さらに検定取得もできれば、即戦力として業界へのアピールポイントになります！！航空業界の実際の業務を理解しながら、検定に向けて頑張りましょう！	
【使用教科書・教材・参考書】 AMADEUS ユーザーガイド 予約		

科目名 (英)	おもてなしの心 I Hospitality	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 金曜日3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 元JAL国際線CA・就職アドバイザー歴23年、一般企業をはじめ大学、短大、高校中学そしてドイツで接遇研修、新入社員研修を実施。今回はアクティブラーニング(能動的学習)形式で、正解のない課題に対して仮説をたてて情報編集力を高める授業を、グループワーク、プレストを通して展開していきます。							
【到達目標】 一番の目標は、社会から求められる人材になること、企業で希少性の高い社会人になることを目指します。どのようなときでも、ピンチは「力」になることを信じて、前向きに挑戦できる社会人になります。							

授業計画・内容	
1回目	シラバスを使って授業の進め方、講師の自己紹介、学生の就職活動と自己紹介。
2回目	就職と就社の違い、学生と社会人の違いを知ることができる。
3回目	接遇5原則の誕生秘話、接遇と接客の違いを知ることができる。
4回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。
5回目	2020年からの著しい変化に伴う、今後求められる人材とは何かを知ることができる。
6回目	自己PRと強みの違いを知ることができる。
7回目	会社に入社して何をしたいのか考えることができる。
8回目	気になるニュースの選び方を知ることができる。
9回目	文章の作り方や構成についてを学び、小論文と作文の違いを知ることができる。
10回目	クッション言葉と肯定的否定語、接客用語について知ることができる。
11回目	実践を通して職場内で使われる用語を知ることができる。
12回目	実践を通して礼状の書き方を身につけることができる。
13回目	実践を通して、敬語を学ぶことができる。
14回目	★評価週 模擬授業(一人ひとり実践)
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	「一勝九敗」これはユニクロの会長兼社長の柳井氏の言葉。9敗の後に1勝が導かれる、その為に9敗の敗因分析が一番大切であると。就職試験直後の受験レポート、報告は「Plan,Do,See,Check」につながるの、しっかりメモをすぐにとって提出してください。
評価方法	出席50% 期末テストの内容50%
受講生への メッセージ	シラバス通りに授業をすすめていきますが、皆様のリクエストにもしっかり応じていきますので、順不同になることもありますのでご理解の程よろしくお願いたします。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	おもてなしの心Ⅱ business manner	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 水曜日2限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 日本航空の国際線客室乗務員(皇室フライトの担当も行った経験がある)を経て、長年に渡り一般企業・短大・大学でマナーに関することを教えてきた専任教員から講義と実践を通じて、入社1年目に求められる社会人としてのマナーをひとつひとつ身に付けることが出来ます。							
【到達目標】 自信をもって入社に臨めるようにはまず心の壁を取り除き、必要なビジネスマナーを習得。さらにコミュニケーション力を磨くことが出来ます。							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーションを受け、今後の授業計画を知ることが出来る。自身の希望する職種に必要なものを知ることが出来る。						
2回目	入社前に行くこと・社会人モードに切り替えることの大切さとは・履歴書の大切さを知ることが出来る。						
3回目	社会人としての基本動作と身だしなみ・仕事で役に立つ言い回し・敬語を学ぶことが出来る。						
4回目	前回の復習とまとめ・色彩深層心理学による自己分析・履歴書の提出が出来る。						
5回目	前回の自己分析を通して1分間の相手の心に響く自己紹介(300文字)が出来るようになる。						
6回目	自信が持てる話し方・プレゼンテーションの基本を学ぶことが出来る。						
7回目	中間テスト:1分間の自己PR						
8回目	仕事の進め方・メモの取り方・報連相のやり方・日報の書き方を学ぶことが出来る。						
9回目	電話を受けるときのマナー・かけるときのマナー・メールのマナー・ビジネス文書の作り方を学ぶことが出来る。						
10回目	コミュニケーションの取り方・会話が途切れない言葉の選び方を学ぶことが出来る。						
11回目	前回の復習とロールプレイを行い、苦手な部分を克服することが出来る。						
12回目	TO DOリスト・PDCAサイクル・情報収集の仕方・新聞の読み方を学ぶことが出来る。						
13回目	総復習を行い、不明確な点を明確にすることが出来る。						
14回目	★評価週	試験:ロールプレイ					
15回目	★まとめ・追試/再試						
準備学習 時間外学習							
評価方法	・履歴書(20%)・ロールプレイ(30%)・実技(50%)						
受講生への メッセージ	授業を通して”小さな習慣”を身に付け、続けることで自信を付けて自分自身をチェンジしていきましょう。深層心理・カラー心理はとても楽しいです。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名 (英)	コンピュータ実習 Computer training	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期
						曜日・時限	金曜5限

【授業の学習内容】

営業、Webディレクター、プライダサービス、PAの現場で様々なスキルを身につけた講師として、Word、Excelを中心に授業をしていきますが、同時にパソコンの使い方、インターネットの活用方法も授業の中に取り入れていきたいと思ひます。毎時間目標とする課題を設定していく計画です。

【到達目標】

<具体的な目標>

Word:印刷物を見て、自分でゼロから作れるようになる。

Excel:仕事で使う関数を身につけ、効率よく仕事ができるようになる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション:自己紹介、USBメモリの使い方がわかる。ショートカットを使えるようになる。	
2回目	Word:基本操作 文章作成、ページレイアウト、保存ができるようになる。	
3回目	Word:文章の編集 文字の配置、インデント、文字の書式設定、行間の調整、印刷設定ができるようになる。	
4回目	Word:表現力のある文章作成 表現のある文章作成ができるようになる。	
5回目	Word:図形の応用 図形のさまざまな編集ができるようになる。	
6回目	Word:表の作成 表の構成、行列の挿入と削除ができるようになる。	
7回目	Word:便利な機能 検索と置換、様々な装飾ができるようになる。	
8回目	Word:SmartArtグラフィック 目的に応じたSmartArtを選択、操作ができるようになる。	
9回目	Word:文章をサポートする機能とテンプレートの活用 スクリーンショット、クイックパーツ、テンプレートを活用できるようになる。	
10回目	Excel:Excelの基本操作 データの入力と編集、表の作成ができるようになる。	
11回目	Excel:数式の作成 数式の入力、関数、絶対参照ができるようになる。	
12回目	Excel:表の編集 フォントの書式設定、条件付き書式設定、シートの編集ができるようになる。	
13回目	Excel:グラフ作成と印刷 グラフの活用、編集、印刷ができるようになる。	
14回目	★評価週	Excel:ワークシートの操作と色々な活用方法 作業グループ、検索と置換、コメント挿入ができるようになる。
15回目	★まとめ・追試/再試	総復習:いろいろな練習問題をします。

準備学習  
時間外学習

身近にある広告や印刷物に対してコレはどの様に作っているのか興味を持ってください。そして自分だったらこんな風に作るのにな〜と、考える事をしてください。パソコンが自宅や身近に触れる機会のある方は、どんどん触れてください。

評価方法

定期試験は実施しません。  
提出物100%で評価します。

受講生への  
メッセージ

まずはパソコンに慣れて欲しい。車の免許と一緒に一度身につけてしまえば一生ものです。とにかく触って慣れてくださいね。

【使用教科書・教材・参考書】



科目名 (英)	バー実習 Bartender skill	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 月曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 20年以上バーテンダーとして業務を行い、自身のBARを運営する専任講師が演習や座学を通してわかりやすく、お酒やバーテンダーに必要な知識を学べる授業です							
【到達目標】 技術面では、シェーク(シェーキング)、ステア(パースプーンのステアの仕方)、グラスの持ち方、注ぎ方、グラスの出し方、シェーカーの洗い方、拭き方。グラスの洗い方など、スマートにできるようになる。 バーの仕事に携わっても即戦力になるようにする。							

授業計画・内容		
1回目	(座学)バーとは、バーテンダーとは。(実技)パーツールの取り扱い方の応用編	
2回目	(座学)氷について、タイプ(実技)氷のカット、丸氷、ダイヤモンドカット	
3回目	(座学)焼酎、甲類焼酎と乙類焼酎の違い(実技)シェーク練習	
4回目	(座学)カクテルのアルコール度数の出し方(実技)ステア練習	
5回目	(座学)シェークについて分析(実技)ジンフィズ、トムマリンスの違い	
6回目	スタンダードカクテル制作(ホワイトレディ、バラライカ、X.Y.Z、マルガリータ)	
7回目	ステア理論(マティニー、マンハッタン)ビルドカクテル(モスコミュール)	
8回目	(座学)リキュールの種類(実技)いろいろなシェーキング	
9回目	(座学)リキュールの種類(実技)フローズンカクテル制作	
10回目	生クリーム系のカクテル制作(グラスホッパー、ミリオンダラー)2層のカクテル	
11回目	(座学)バーテンダーとしての心構え復習(実技)シェーキング見直し	
12回目	(座学)酒類全般の基礎知識①(実技)ステア見直し	
13回目	(座学)酒類全般の基礎知識②(実技)目分量の練習	
14回目	★評価週	スタンダードカクテルによる実技試験
15回目	★まとめ・追試/再試	スタンダードカクテルによる実技試験
準備学習 時間外学習	授業で学んだシェークとステアの技術をイメージトレーニングする。 スタンダードカクテルレシピを暗記する。	
評価方法	10段階評価による実技試験と、酒類全般の筆記試験を期末に行います。	
受講生へのメッセージ	バーテンダーとしての所作、知識、お客様との距離感を1年生の時よりも応用力がつけられるようになる。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	ブライダル実習	必修 選択	必修	年次	2021	担当教員	
	Bridal seminar	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科					曜日・時限	火曜日・5限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)法人営業やホテル・ブライダル業界の経験者です。ウェディングプランナー育成に携わっています。</p> <p>ブライダル全般についての知識を学んでいただきます。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ブライダル業界の知識を身につけることができる</p>							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション(授業内容の説明・自己紹介)	
2回目	ブライダル分野の授業内容説明、ブライダルに関する質問に個別に対応して興味を深める。	
3回目	なぜ人は結婚式をするのか・結婚式を創る仕事をするプランナーの心構えについて学ぶことができる。	
4回目	ブライダル業界の仕事内容について学ぶことができる	
5回目	ブライダルプランナーの結婚式までの流れを学ぶことができる	
6回目	挙式スタイルについて学ぶことができる	
7回目	中間テスト	
8回目	披露宴について学ぶことができる	
9回目	結婚式の当日の流れを学ぶことができる	
10回目	自分の結婚式を考えコーージュを作成する	
11回目	コーージュをもとにプレゼンを行う	
12回目	ブライダル業界の現状と将来性について学ぶことができる	
13回目	ブライダル・トレンドを学ぶことができる	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト返却・フィードバック
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト50% 期末テスト50%	
受講生へのメッセージ	ブライダルに興味を持ちウェディングプランナーという職業に対する理解を深めていただきます。 ウェディングプランナーという職業が素晴らしいものであることを一緒に学んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	プロショップ(就職対策) pro shop	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小椎尾 陽子
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、キャリア教育を通して社会人基礎力を身につけ、自己理解を深めていきます。  
実務経験: 国内大手航空会社の客室乗務員及び教育関連業務

【到達目標】

- (1) 接客のプロとしてマナーを身につけることができる。
- (2) 自己分析を徹底的に行い、自分の強み・弱みをすることで自己肯定感を高めることができる。
- (3) 航空業界、CA業務についての知識を習得することができる。
- (4) 5年後のビジョンを具体的に考え行動することができる。

**授業計画・内容**

1回目	オリエンテーション/授業の目的について理解することができる/自己紹介を通し、傾聴の仕方、伝え方の重要性を理解することができる
2回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ①第一印象/挨拶
3回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ②表情/身だしなみ
4回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ③立ち居振舞/美しい所作
5回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ④言葉遣い/ANNIにて正しいイントネーションを習得する
6回目	将来のビジョンに対する明確な目標設定を行うことができる
7回目	コミュニケーション能力の3つのスキル(話す力・聴く力・交渉する力)を身につけることができる
8回目	リフレーミングを活用した表現力のスキルを身につけることができる
9回目	自己分析ができる ①マインドマップの作成/エニアグラム診断
10回目	自己分析ができる ②自分史作成
11回目	自己分析ができる ③経験の分析/長所の抽出
12回目	企業研究を行い、空港業務に関わる企業を徹底的に知ることができる
13回目	今まで学習したことを復習し発表することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試

準備学習  
時間外学習

評価方法

定期テスト 100%

受講生への  
メッセージ

ご入学おめでとうございます。自分の目標をしっかりと持ち、それに向かってやるべきことを「見える化」しましょう！ 学生生活を有意義な時間にするのはあなた次第です！ 積極的に行動に移しましょう。みなさんの成長を楽しみにしています。

科目名 (英)	プロショップ PRO SHOP	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、キャリア教育を通して社会人基礎力を身につけ、自己理解を深めていきます。

【到達目標】

- (1) 接客のプロとしてマナーを身につけることができる。
- (2) 自己分析を徹底的に行い、自分の強み・弱みをすることで自己肯定感を高めることができる。
- (3) 航空業界、CA業務についての知識を習得することができる。
- (4) 5年後のビジョンを具体的に考え行動することができる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	オリエンテーション/授業の目的について理解することができる/自己紹介を通し、傾聴の仕方、伝え方の重要性を理解することができる	
2回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ①第一印象/挨拶	
3回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ②表情/身だしなみ	
4回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ③立ち居振舞/美しい所作	
5回目	接客のプロとして必要なマナーを身につけることができる ④言葉遣い/ANNIにて正しいイントネーションを習得する	
6回目	将来のビジョンに対する明確な目標設定を行うことができる	
7回目	コミュニケーション能力の3つのスキル(話す力・聴く力・交渉する力)を身につけることができる	
8回目	リフレーミングを活用した表現力のスキルを身につけることができる	
9回目	自己分析ができる ①マインドマップの作成/エニアグラム診断	
10回目	自己分析ができる ②自分史作成	
11回目	自己分析ができる ③経験の分析/長所の抽出	
12回目	企業研究を行い、空港業務に関わる企業を徹底的に知ることができる	
13回目	今まで学習したことを復習し発表することができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	定期テスト 100%
------	------------

受講生への メッセージ	ご入学おめでとうございます。自分の目標をしっかり持ち、それに向かってやるべきことを「見える化」しましょう！ 学生生活を有意義な時間にするのはあなた次第です！ 積極的に行動に移しましょう。みなさんの成長を楽しみにしています。
----------------	---

--	--

科目名 (英)	ホスピタリティ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Associate Hospitality Coordinator	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科					曜日・時限	金曜日4限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
日本ホスピタリティ推進協会のホスピタリティ・コーディネータ教本をベースに、ホスピタリティのフレームを理解し、サービスとホスピタリティの違いなど、ホスピタリティについて学びます。

※実務者経験：1989年4月～1993年9月まで、藤田観光(株)小倉ワシントンホテル フロント課に配属。  
2017年3月 日本ホスピタリティ推進協会認定「ホスピタリティ・コーディネータ」資格取得。

【到達目標】

- ①理論と実践の両面からホスピタリティを理解し、マインドとスキルを習得する。
- ②日本ホスピタリティ推進協会認定「アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ(AHC)」の資格を取得する。

授業計画・内容	
1回目	ホスピタリティとサービスの違い・語源 プロフェッショナルから学ぶホスピタリティの極意(動画視聴)
2回目	ホスピタリティの実践①(適切な笑顔、身だしなみ、立ち居振る舞いができる)
3回目	ホスピタリティの実践②(適切な会話、傾聴姿勢、言葉遣い、対応をすることができる)
4回目	ホスピタリティの歴史と文化、日本のサービス産業の現状とホスピタリティの重要性を理解することができる。
5回目	「相手の立場に立つ」ことの意味を理解することができる。
6回目	心のバリアフリーについての映像を基に理解することができる。
7回目	★中間テスト実施 ホスピタリティの定義を説明することができる。
8回目	ホスピタリティ業界と顧客満足との関係を理解し従業員満足につながるリーダーシップをとることができる。
9回目	お客様へのアフターフォローを学び、ホスピタリティを基に顧客満足を獲得することができる。
10回目	ホスピタリティを将来の職場で活かす企画・アイデアをグループワークをもとに考案することができる。
11回目	ホスピタリティを将来の職場で活かす企画・アイデア(プレゼンテーション)を自身の考え方を提案することができる。
12回目	自分自身でホスピタリティ・マインドの育て方を知ることができる。
13回目	ホスピタリティのまとめ 社会人に向けて実践していくことを理解し、業界を目指すことができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	ホスピタリティ・マインドを身に付けるためには、自分自身がお客様になってホスピタリティを体験することや、日頃から意識して「相手の立場に立つ」ことを考え、行動してください。また、ホスピタリティに関する書籍を自ら進んで読み、ホスピタリティ・マインドを高めてください。
評価方法	●中間テスト(20点) ●定期テスト(80点) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	ホスピタリティはどの業界においても必要とされています。本講義では、ホスピタリティについて学び、「相手(顧客)の立場になって考え、行動できる」力を身に付け、業界の即戦力になりましょう！授業で配布された資料はファイリングするなど必ず各自で保管をし、毎回持参してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：ホスピタリティ・コーディネータ教本 日本ホスピタリティ推進協会 参考書：林田正光著 図解版ホスピタリティの教科書 あさ出版	

科目名 (英)	ユニバーサルマナー Comprehensive Service	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福田 哲也
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日・1限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルサービスとは何か、基本的な考え方から、必要性についての理解。</li> <li>・多様なお客様の特徴と対応方法、実践的手法の基礎的理解。</li> </ul> <p>ユニバーサルマナー協会よりユニバーサルサービスの講習指導者の実績を有する</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>&lt;具体的な目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルサービスが求められる背景を理解し、多様なお客様の特徴と対応方法を習得する。</li> </ul>							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・自己紹介・ユニバーサルサービスとは何かを理解することができる。
2回目	・ユニバーサルサービスの基本的な考え方、求められる背景を理解することができる。
3回目	・高齢者に多い病気、認知症の理解、障害を理解することができる。
4回目	・バリアフリーの理解、様々な環境でのバリア、ユニバーサルデザインを理解することができる。
5回目	・高齢のお客様の理解と対応方法、車いす基本操作ができる。
6回目	・車いすを使用しているお客様の理解と対応方法(車いす基本操作実習)をおこなうことができる。
7回目	・配慮が必要なお客様の理解と対応方法(知的・精神・身体・内部障害、妊婦、子ども連れなど)を学び実践することができる。
8回目	・目の不自由なお客様の理解と対応方法(視覚障害体験と介助方法実習)を学び実践することができる。
9回目	を学び実践することができる。・目の不自由なお客様の理解と対応方法(視覚障害体験と介助方法実習)
10回目	・テーブルへのご案内(車いす・杖・視覚障害者)、立ち上がり方、座位姿勢を学び実践することができる。
11回目	・テーブルへのご案内(車いす・杖・視覚障害者)、立ち上がり方、座位姿勢の実践することができる。
12回目	・ホテル・航空・旅行におけるユニバーサルデザインを理解し、今後のユニバーサルデザインを考えることができる。
13回目	・ユニバーサルマナー検定2級講習
14回目	筆記試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト(30%)</li> <li>●実技または筆記(20%)</li> <li>●定期テスト(50%)</li> </ul> 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	これから、高齢化社会に突き進むうえで、身体面でのサポートを必要とされる方が増えていく傾向となります。その上で、業界で活躍する上でもユニバーサルマナーを理解し、多様化するニーズに合わせて接客できる人材となれるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
授業毎にプリントを配布	

科目名 (英)	ユニバーサルマナー2級 Comprehensive Service	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福田 哲也
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日・1限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルサービスとは何か、基本的な考え方から、必要性についての理解。</li> <li>・多様なお客様の特徴と対応方法、実践的手法の基礎的理解。</li> </ul> <p>実務経験:ユニバーサルマナー協会よりユニバーサルサービスの講習指導者の実績(13年のキャリア)を有する</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>&lt;具体的な目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルサービスが求められる背景を理解し、多様なお客様の特徴と対応方法を習得する。</li> </ul>							

授業計画・内容	
1回目	講師紹介・自己紹介・ユニバーサルサービスとは何かを理解することができる。
2回目	・ユニバーサルサービスの基本的な考え方、求められる背景を理解することができる。
3回目	・高齢者に多い病気、認知症の理解、障害を理解することができる。
4回目	・バリアフリーの理解、様々な環境でのバリア、ユニバーサルデザインを理解することができる。
5回目	・高齢のお客様の理解と対応方法、車いす基本操作ができる。
6回目	・車いすを使用しているお客様の理解と対応方法(車いす基本操作実習)をおこなうことができる。
7回目	・配慮が必要なお客様の理解と対応方法(知的・精神・身体・内部障害、妊婦、子ども連れなど)を学び実践することができる。
8回目	・目の不自由なお客様の理解と対応方法(視覚障害体験と介助方法実習)を学び実践することができる。
9回目	を学び実践することができる。・目の不自由なお客様の理解と対応方法(視覚障害体験と介助方法実習)
10回目	・テーブルへのご案内(車いす・杖・視覚障害者)、立ち上がり方、座位姿勢を学び実践することができる。
11回目	・テーブルへのご案内(車いす・杖・視覚障害者)、立ち上がり方、座位姿勢の実践することができる。
12回目	・ホテル・航空・旅行におけるユニバーサルデザインを理解し、今後のユニバーサルデザインを考えることができる。
13回目	・ユニバーサルマナー検定2級講習
14回目	筆記試験
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト(30%)</li> <li>●実技または筆記(20%)</li> <li>●定期テスト(50%)</li> </ul> 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	これから、高齢化社会に突き進むうえで、身体面でのサポートを必要とされる方が増えていく傾向となります。その上で、業界で活躍する上でもユニバーサルマナーを理解し、多様化するニーズに合わせて接客できる人材となれるようになれば幸いです。
【使用教科書・教材・参考書】	
授業毎にプリントを配布	

科目名 (英)	レストラン実務 HRS practice	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1,2限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 実技試験官の経験を有する教員が過去問題を通じて実社会で通用する知識・学び方を身につけていきます。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>全員、夏休み前には各年代の過去問90点以上</p> <p>〈具体的な目標〉</p> <p>目標①課題の抽出と克服</p> <p>目標②類似問題の見極め方</p> <p>目標③問題の解き方</p>							

授業計画・内容	
1回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
2回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
3回目	過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
4回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
5回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
6回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
12回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
13回目	各年代における過去問題の平均90点取得出来る様になる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間 外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生へのメッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】	
厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	



科目名 (英)	英会話(レベルアップゼミ)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	
	English seminar	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科				2	曜日・時限	月曜日・3時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

学校等で英語講師を担当した実績のある専任教員が、あなたのキャリアの夢を実現するために必要な英語力を身につけます。(日本滞在10年以上、企業のマネジメントやビジネス英会話を企業研修でも行う講師が英会話の実践的なゼミを展開 Our full-time teacher with a proven track record of teaching English at airline vocational schools will equip you with the English proficiency you need to realize your career dreams.

【到達目標】

英語で挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to greet and introduce yourself in English.

英語で簡単なコミュニケーションがとれる。 You'll be able to communicate easily in English.

授業計画・内容

1回目	挨拶、自己紹介ができる。 You'll be able to say hello and introduce yourself.	
2回目	物、国、場所などについて理解できる。 You'll be able to name objects, countries, places, etc.	
3回目	自分自身について話すことができる。(日常の活動、国籍、数字) You'll be able to talk about yourself. (Daily activities, nationality, numbers)	
4回目	自分自身について話すことができる。(日常の活動、家族やペット) You'll be able to talk about yourself. (Daily activities, family and pets)	
5回目	人と物の説明、天気、物が誰のものかについて話すことができる。 You'll be able to talk about people and objects, the weather, and who the objects belong to.	
6回目	家族、活動やイベントの説明、所属について話すことができる。 You'll be able to talk about your family, activities and events, and your affiliation.	
7回目	単数形と複数形の違いを理解できる。町の周りの場所、場所を探す。 You'll be able to understand the difference between the singular and the plural. Find places around the town	
8回目	単数形と複数形の違いを理解できる。 買い物ができる。 You'll be able to shop for clothing; understand the difference between the singular and the plural; colors	
9回目	言語と国籍、仕事、日常の活動 You will learn about language and nationality, work, daily activities	
10回目	人々の興味やあなたの仕事を説明できる。 You'll be able to explain people's interests and your work.	
11回目	時間の説明ができる。 You'll be able to explain the time.	
12回目	日常生活、感情を表すことができる。 You'll be able to express everyday life and emotions.	
13回目	面接で自分の能力を表現する。 You'll be able to express your abilities in an interview.	
14回目	★評価週	理解度テスト comprehension test
15回目	★まとめ・追試/再試	理解度テストの総復習 Test retry/Comprehension test review
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください Please prepare yourself for each mini-test	
評価方法	最終テスト100%	
受講生への メッセージ	入学おめでとうございます。楽しくわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。 Congratulations on your admission. Lets enjoy learning English in a fun and easy to understand method. This lecture will help you acquire the necessary English speaking skill to communicate in the international society.	

【使用教科書・教材・参考書】

SIDE by SIDE ( Book & eText ) ENGLISH FOR EVERYONE ( Course Book )

科目名 (英)	英語 English Conversaion	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期 水曜1.2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 小・中・高等学校や英会話教室での英語教授経験の豊富な教員とスピーキングやリスニング練習を通じて、日常生活で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。様々な場面で自分の伝えたいことを英語で表現できるよう、活きた英会話を実践的に学ぶ。 Introductory level course focusing on improving students' spoken English in a conversational setting.							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話すことができる。Students should feel more comfortable and confident in discussing everyday, high frequency topics.							

授業計画・内容	
1回目	L. 1 初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる
2回目	L. 2, 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる
3回目	L. 5, 6 好き・嫌い等の好みについての会話や質問返しができる
4回目	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べるができる
5回目	L. 11,12 人を褒める&褒められた際の会話表現や、(衣服など)着ているものに関して述べるができる
6回目	L. 7, 13, & 14 時間について表現することができる。日々の習慣について話す&質問することができる
7回目	L. 19, 20 道案内をする・場所を尋ねることができる
8回目	L. 21, 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをすることができる
9回目	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができる
10回目	L. 29, 30 過去の出来事について話す&質問することができる
11回目	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができる
12回目	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる
13回目	総復習
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んで起きましょう。
評価方法	試験100%
受講生へのメッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】 Speak Now 1	

科目名 (英)	海外観光地理Ⅱ Overseas tourism geography Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	火曜日
						曜日・時限	3限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

トラベル業界で営業職として4年間の実績のある専任教員が、6か国の基本情報・料理・観光地をわかりやすく、かつ行きたくなるような情報を教えていきます。具体的には、実際にお客様に渡す資料を使って、学生をお客様と捉えて授業を行います。私自身がお客様に案内するように、行きたくなる・行って楽しんでほしいと感じてもらうための授業を行います。そして、受講した学生が興味を持ち、お客様にも案内したくなると思います。また、実践的な授業だけでなく、エーブルペーカーチャーターや海外旅行の必要な準備など、実用的な授業も行っています。

【到達目標】

- ・各国の基本情報を学び、各国の特徴・歴史などを理解することができる
- ・観光地(世界遺産)を理解し、お客様に情報を提供できるようになる

授業計画・内容		
1回目	自己紹介・授業の説明・授業の目的を知り。本授業で何を学ぶべきか学生自身で理解する	
2回目	①韓国(基本情報、料理)を理解することができる	
3回目	②韓国(観光地)の知識を深めることができる	
4回目	①台湾(基本情報、料理)を理解することができる	
5回目	②台湾(観光地)の知識を深めることができる	
6回目	①香港(基本情報、料理)を理解することができる	
7回目	②香港(観光地)の知識を深めることができる	
8回目	①上海(基本情報、料理)を理解することができる	
9回目	②上海(観光地)の知識を深めることができる	
10回目	①ニュージーランド(基本情報、料理)を理解することができる	
11回目	②ニュージーランド(観光地)の知識を深めることができる	
12回目	①カナダ(基本情報、料理)を理解することができる	
13回目	②カナダ(観光地)の知識を深めることができる	
14回目	★評価週	6か国の基本情報・料理・観光地のテスト
15回目	★まとめ・追試/再試	6か国の基本情報・料理・観光地のテストを総復習
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト100%	
受講生へのメッセージ	本講義は、海外6か国の基本情報、料理、観光地を教えていきます。また、実践でも活用できるエーブルペーカーチャーターや海外旅行の必要な準備なども教えていきます。本講義を通して、海外への興味・魅力を高めて、海外のことを好きになってもらえたらと思います。	
【使用教科書・教材・参考書】		
旅に出たくなる地図		

科目名 (英)	韓国語 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	Korean Language	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科					曜日・時限	金曜日2限

【授業の学習内容】

韓国在住12年、韓国に関わる業務経験10年の講師と共に、韓国語の基礎を学びます。具体的には、韓国語の文字の仕組み、発音、挨拶、基本会話、旅行や韓国人のお客様を迎える時に使えるフレーズ、トレンドなどを通じて韓国語の基礎を楽しく身に付けることを目標とします。

【到達目標】

- ・韓国語の文字と発音を身に付け、正しい発音で文字を読むことができる
- ・学んだ文法を使用し、簡単な文を作って読み・書きができる
- ・韓国語を正しく聞き取り、自然な会話ができる

授業計画・内容

1回目	韓国語とハングルの仕組み、基本母音を知り、文字を読むことができる	
2回目	基本子音を知り、文字と単語を読むことができる	
3回目	基本母音、基本子音の復習、複合母音を知ることができ、単語や名前を書くことができる	
4回目	パッチムを知ることができる	
5回目	韓国語の発音ルールと基本の挨拶を知ることができる	
6回目	日本語と韓国語の似ている点を理解し、語尾(～です)を使って自己紹介ができる	
7回目	指示詞(これ、それ、あれ)、疑問詞(何)を使って会話することができる	
8回目	語尾(～ではありません)を使って会話することができる	
9回目	動詞の基本(～します)を使って会話することができる	
10回目	疑問文「～ですか」「～しますか」を使って会話することができる	
11回目	助詞(～に)、「あります」「ありません」を使って会話することができる	
12回目	学んだ表現を使って旅行や接客会話をする事ができる	
13回目	復習を通じ、理解できなかった部分の質問や確認ができる	
14回目	★評価週	テスト(筆記&スピーキング)
15回目	★まとめ・追試/再試	テスト結果の確認、全体のまとめ
準備学習 時間外学習	復習を中心とし、週1時間程度の自習をお勧めします	
評価方法	期末テスト90%、授業態度10%	
受講生への メッセージ	韓国語を学ぶにあたって重要なポイントをわかりやすく丁寧に説明します。 読み書きだけでなく、聞くこと、話すことをバランス良く取り入れながら、日常生活や仕事をする上で必要なフレーズを身につけていきましょう。 韓国、韓国語について知りたいことがございましたら、お気軽にご質問ください！	

【使用教科書・教材・参考書】

プリントを配布する予定です。  
参考テキスト: 日本語から始める書き込み式韓国語BOOK、できる韓国語初級 I (購入する必要はありません)

科目名 (英)	韓国語Ⅱ Korean Language	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日2限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>延世大学語学堂卒業。最高級6級を取得。留学生活を送りながら生きた韓国語を学んだ講師と共に、ハングル文字の仕組みや自然な会話、現地で使える言葉やフレーズを身につけ、旅行や韓国人のお客様を迎える時、活用できる韓国語を学んでいきます。それぞれのシチュエーションに合った韓国語を学び活かせることを目標とします。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>前期学習した基本的な知識を基に、空港やホテルでの様々なシチュエーションに対応することが出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	復習「～ません・ありません」の表現と並列の文法表現を身につけ、活用することができる
2回目	過去形の復習・原因を述べる表現を身につけ活用することができる
3回目	「～したい」の文法・目的を述べる表現を身につけ活用することができる
4回目	勧誘の表現を身につけ活用することができる
5回目	予定・意思表示について学習し活用することができる
6回目	特別な敬語表現を活用することができる
7回目	小テスト・可能表現を身につけ活用することができる
8回目	動詞の連体形を学ぶ・理由を述べる表現を身につけ活用することができる
9回目	条件・仮定表現について身につけ活用することができる
10回目	感嘆・指示表現について身につけ活用することができる
11回目	許可表現について身につけ活用することができる
12回目	禁止表現・義務表現について身につけ活用することができる
13回目	依頼・授受表現について身につけ活用することができる
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	週1～2時間程度の自主学習をお勧めします
評価方法	小テスト・期末テスト
受講生への メッセージ	基礎編での知識をもとに、より高度でさまざまな表現が使えるような、韓国語応用編の授業を行います。小テストは基礎編同様、授業をしっかり聞けば解けるレベルです。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>プリントを毎時間配布します。</p>	

科目名 (英)	空間コーディネート Spatial coordination	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 木曜2限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 最年少でNFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデュースを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネート、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている講師がトレンドと伝統を織り交ぜたコーディネート授業を展開します。							
【到達目標】 最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することができる							

授業計画・内容		予算(概算)
1回目	オリエンテーション・自己紹介/前期授業内容について	
2回目	空間コーディネートとは何か理解する	
3回目	VMDについて理解する	
4回目	ディスプレイに用いる仕器の組み合わせ方法が出来るようになる	
5回目	校内で実際にディスプレイを行う場所を考えプランニングをすることができる	
6回目	プランを実践表現できる①	
7回目	プランを実践表現できる②	
8回目	商品ディスプレイについて理解する	
9回目	色彩がもたらす心理効果について理解する	
10回目	空間コーディネートと植物について理解する	
11回目	インテリアコーディネートと生花とは何か理解する	
12回目	評価週に向けて校内でディスプレイを行う場所を考えプランニング①ができる	
13回目	評価週に向けて校内でディスプレイを行う場所を考えプランニング②ができる	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習		
評価方法	期末テスト(100%)	
受講生への メッセージ	最新のトレンドを取り入れた空間コーディネートを学び実践することで、空間コーディネート力を身につけていきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		

科目名 (英)	航空知識 I study of airlines industry	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	廣田 紀江
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日3限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 航空業界でグランドスタッフ・客室乗務員として経験を積んだ専任教員が経験した事例や体験談を伝える。航空業界で実際に使用されている用語や必要とされる専門的な知識を学ぶことが出来る。</p> <p>実務経験:国内大手航空会社のグランドスタッフ経験及び教育関連業務22年のキャリア</p>							
<p>【到達目標】 業界用語を学び暗記することが出来る。航空知識を身に付け就職活動に役立てることが出来るようになる。エアラインのことを知り興味をもって学ぶことが出来る。</p>							

授業計画・内容	
1回目	廣田先生:説明・アルファベットの読み方を理解できる。(空港コードの振り返りを行い暗記することが出来る)
2回目	廣田先生:へボン式ローマ字・MEAL・SPCLコード・日付の独特な表記のしかたを知ることが出来る。①
3回目	新倉先生:へボン式ローマ字・MEAL・SPCLコード・日付の独特な表記のしかたを知ることが出来る。②
4回目	CIQ見学
5回目	横山先生:様々な航空運賃について知ることが出来る
6回目	鳥井先生:危険物と荷物に関して学ぶことが出来る。(4限目)
7回目	鳥井先生:危険物の種類分けが自分で行えるようになる。(中間テスト)
8回目	鳥井先生:飛行機と世界のエアラインについて知ることが出来る。
9回目	新倉先生:航空業界の歴史について学ぶことが出来る。1
10回目	新倉先生:航空業界の歴史について学ぶことが出来る。2
11回目	横山先生:各アライアンスのマイレージについて知り、どの様に活用できるかを学ぶことが出来る。
12回目	松尾先生: JALの歴史について学ぶことが出来る。
13回目	松尾先生:CAの業務について学ぶことが出来る。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	中間テスト50% 期末試験50%
受講生へのメッセージ	エアライン業界には皆さんがまだまだ知らないことがたくさんあります。CA/GSを経験されたプロからたくさんのことを学び就活に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	航空知識Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Study of airlines IndustryⅡ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
学科・コース	エアライン科				2	曜日・時限	水曜日2限目

【授業の学習内容】  
 エアライン業界にて基幹空港の旅客業務(グラントスタッフ)を担当した実績のある専任教員が、航空業界の様々な知識をわかりやすく解説して興味を引き出し、業務の奥深さとやりがいを伝えます。

【到達目標】  
 ・実際に業界で働いている方の講義を通じて、「今」のエアライン業界について学ぶことができる。  
 ・エアライン業界の全体像を把握し、業界の歴史や国家・企業の様々な取り組みを知りながら、業務に従事する上で必要となる基本的知識を習得することが実感できる。  
 ・運航(オペレーション)の概要を学び、航空に関する法規や関連機関を知って、今日の安全がどのように築き上げられ保持されているのかを理解することができる。  
 ・公共交通機関に必要な不可欠な安全性の重要性を十分に理解し、運航の基礎知識を基に、安全要員となるための責任感と業務への意欲を抱けるようになる。

授業計画・内容

1回目	前期末の課題「業界志望職種の研究」と特別講義向けの事前学習を通して 業界の現状把握と就職への覚悟を持てるようになる。
2回目	各企業(グループ)や職種の特色・違いを知ることで 特別講義に向けた質問事項を抽出でき、就職対策における企業研究の着眼点も 得ることができ
3回目	航空会社の空港業務において GSが担当する 予約・チェックイン、手荷物受託、ロビーサービス等の旅客業務を シミュレーションしながら実践的に学ぶことができる。
4回目	特別講義 ANA福岡空港(株)① 業界内のANAホールディングスの特徴、経営戦略、グループ人財活用、ANAグループ企業の概要・各種業務を知ることができ
5回目	特別講義 ANA福岡空港(株)② GSとGHのCS意識、多頻度旅客へのサービス、路線と機材の特徴、新型コロナウイルス対策、社内コンテスト等を知ることができ
6回目	特別講義を振り返り、各自およびグループワークで発見を拡充し 理解を深化できる。当該企業への礼状を書き、とホスピタリティの実践練習ができる。
7回目	航空会社において GSが空港で行う X-RAY、ゲート、到着での各種業務やアナウンスを シミュレーションしながら実践的に学ぶことができる。
8回目	航空会社における 運航乗務員(PLT)の職掌、 運航管理・支援業務 (DISP, LC, HC, SPOT)、 航空無線と通信方式について 学ぶことができる。
9回目	航空会社における ランプ支援業務(GH)、整備業務(MX)、ケータリング業務、航空貨物業務、警備会社の保安検査業務について 学ぶことができる。
10回目	航空会社における 客室乗務員(CA)の職掌、安全要員としての訓練概要、機内サービスの特徴(各種ミールや機内販売等)について 学ぶことができる。
11回目	法令規程の遵守の重要性、IATAの指針と日本の航空法に則った危険物の定義・取扱いがわかる。 航空会社の様々な保安対策や疾病対策がわか
12回目	航空機事故の歴史と事故の検証を 通して 安全運航の重要性を 認識し、安全要員として職種ごとに求められる責任について 深く考えることができる。
13回目	顧客志向やホスピタリティ産業としての基本的な心構えを学び、トラブル対応や基本動作、言葉遣い等を身に付けることができる。
14回目	★評価週 航空業界に関する知識のポイントを振り返り、様々な講義を通して学んだことを定着させることができる。
15回目	★まとめ・追試/再試 歴史に根差した航空業界の「今」について 考察し、業界の未来を想像して自分なりの新たな発想を抱ける。

準備学習 時間外学習  
 事前に配布されたテキストや資料類は事前に一読して授業に臨みましょう。  
 知識を得ることは、業界の面白さや仕事のやりがいに気付けるチャンスです。授業後も読み返して、今後の選択やものの考え方に活かしましょう。

評価方法  
 きまつ  
 期末テスト 100%

受講生へのメッセージ  
 ・エアライン業界において安全は最重要課題です。安全こそ全てにおいて優先されるという認識を強く持ち、幅広く正確な知識を身に付けましょう。・飛行機の運航はくの人々が連携して実現します。チームワークの重要性を 理解し、日頃から仲間と助け合い、高め合える人物を目指しましょう。・夢を現実にするのはあなた自身です。今を大切に、一歩ずつ確実にスキルアップして、叶えたい未来を引き寄せましょう。

【使用教科書・教材・参考書】  
 ◆テキスト:『エアポート ビジネス入門』 および プリント等を適宜配布



科目名 (英)	国内観光地理 Domestic Tourism Geography	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 4限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 旅行会社にてコンシェルジュとして現役で活躍する講師が、日本国内の地理や観光地について授業を行う。国内の観光地をテキストを使用して、今後の実務に応用できるよう学ぶ。  
 九州・沖縄、中国、四国、関西、北陸、東海、関東、東北、北海道 の9つに分けて 観光地の勉強と、グループで旅行の計画をしてもらいます。

【到達目標】  
 日本全国の地理・観光名所をテキストや経験談から学び、日本の良さを人に伝えることができるようになる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	挨拶、自己紹介、授業のすすめ方の説明、アンケート調査	
2回目	沖縄・九州の観光地授業の内容を理解する。	
3回目	沖縄・九州・中国の観光地授業の内容を理解する。	
4回目	中国・四国の観光地授業の内容を理解する。	
5回目	関西 観光地授業の内容を理解する。 日帰り旅行企画説明を聞き、実施内容を理解する。	
6回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで作成する。	
7回目	九州観光地 現地空港発着 日帰り旅行企画をグループで発表する。	
8回目	関西 観光地授業の内容を理解する。	
9回目	北陸・東海 観光地授業の内容を理解する。	
10回目	関東・東北 観光授業の内容を理解する。	
11回目	関東・東北 観光授業の内容を理解する。	
12回目	北海道 観光地授業の内容を理解する。	
13回目	北海道 観光地授業の内容を理解する。 テスト説明を聞き、内容を理解する。	
14回目	★評価週	筆記テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト振り返り

準備学習 時間外学習	
------------	--

評価方法	日帰り旅行企画での評価 50% 筆記テストでの評価 50%
------	----------------------------------

受講生へのメッセージ	総合的なコンシェルジュを目指しましょう。
------------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】

科目名 (英)	実用英語検定対策	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	花田 束砂
	EIKEN	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科					曜日・時限	火曜2限目

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

※実務者経験: 英語講師経験20年。英語翻訳業務実務経験5年。実用英語検定(3級、準2級、2級担当)面接試験官18年。Nutrition and Well-being(栄養と健康について)University of Aberdeen(アバディーン大学)/Statement of Participation(講座修了書)取得。Professional Practices for English Language Teaching(英語教育の為に専門的プラクティス)/British Council(ブリティッシュ・カウンシル)Statement of Participation(講座修了書)等の資格を有した講師が、生徒の実用英語検定合格に向けて、15レッスンにわたり、英文法の総復習、英単語、慣用表現、英熟語の学習、リスニング、ライティング、面接対策を行い、生徒達が実用英語技能検定試験合格に向けて、総合的な英語力を付けることが出来る様指導します。

【到達目標】

実用英語技能検定、3級、準2級、2級、準1級に合格することが出来る。

授業計画・内容		
1回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解することが出来る。各自合格する為に何が必要かを知り、学習目標を立てることが出来る。	
2回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、単語、熟語、文法、リスニング問題の傾向と解き方を知ることが出来る。	
3回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、会話問題を解くことが出来る。	
4回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、長文読解問題を解くことが出来る。	
5回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、英作文を書くことが出来る。	
6回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、各自の弱点を知り、中間考査に向けて強化目標を立てることが出来る。	
7回目	中間考査	
8回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、面接試験に備えることが出来る。	
9回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、面接試験に備えることが出来る。	
10回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、応用問題を解くことが出来る。	
11回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、応用問題を解くことが出来る。	
12回目	合格に必要な英単語・熟語・表現を覚え、文法的用法を理解し、応用問題を解くことが出来る。	
13回目	総復習を行い、期末試験に向けて備えることが出来る。	
14回目	★評価週	期末試験
15回目	★まとめ・追試/再試	各自、更に上の級に合格する為に何が必要なのか知り、学習目標を立てることが出来る。
準備学習 時間外学習	ゴールデンウィーク、及び夏季休暇時には課題を出します。	
評価方法	課題提出、中間考査結果、期末考査結果を総合的に評価します。	
受講生へのメッセージ	実用英語技能検定試験合格に向けて、基礎英文法から、応用問題、面接やライティング問題などに対応できる総合的な英語力を身につけましょう。各自学習目標を立て、英検合格に向けて、計画的に学習しましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

中学校3年間の英語が1冊でしっかりわかる本 / DAILY20日間英検準2級集中ゼミ / DAILY20日間英検2級集中ゼミ / 英検準2級文で覚える単熟語 / 英検2級文で覚える単熟語  
その他プリント等

科目名 (英)	手話 I sign language I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	谷口先生・宮崎先生
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4限目
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>手話通訳指導者から、聴覚障害のある人への生活支援技術として、手話によるコミュニケーション技術を習得する方法を学ぶことができます。簡単な手話表現を理解し、手話や表情によりお互いの想いを伝えあうこともできるようになります。手話による会話の楽しさや表現力を学習することができます。</p> <p>実務経験:手話奉仕員養成講座講師17年・手話通訳養成講座指導者3年・外部手話講師13年間の実績</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ろう者と日常的な会話ができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	「伝えあってみましょう」手や体の動きや表情を使って伝え合うことができる。
2回目	「名前を紹介しましょう」自分の名前を用いて色々な方法で表現し、あいさつができる。
3回目	「家族を紹介しましょう」疑問詞「だれ」を使って会話ができる。
4回目	「数を使って話しましょう」疑問詞「いつ」「いくつ」「いくら」を使って会話ができる。
5回目	「趣味について話しましょう」身近な話題を会話ができる。身振り、表情を工夫する。
6回目	「仕事について話しましょう」今までの学習を活かして自分を紹介ができる。
7回目	「住所を紹介しましょう」目の前の空間の使い方を学ぶ。指さし、イメージを持って表現ができる。
8回目	「一日のことを話しましょう」時の表し方ができる。動詞の手話を覚える。
9回目	「一か月のことを話しましょう」過去、現在、未来の表し方ができる。
10回目	「一年のことを話しましょう」季節、月、年の表し方ができる。。疑問詞「どちら」、「～したい」を使って会話ができる。
11回目	「パーティのことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。
12回目	「旅行のことを話しましょう」日常生活の色々な場面での会話ができる。
13回目	「日常生活の色々な場面での会話を学ぶ。」病院のこの話ができる。
夏季休暇【8/8(土)～8/18(火)】	
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	●小テスト(30%) ●期末テスト(70%) 割合で成績評価を行う。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう	

科目名 (英)	手話Ⅱ Sign LanguageⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科CA/GSコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 木曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 福岡市手話奉仕員養成事業の講師の実績がある講師が、手話の基本文法を指導する。 聴覚障害者を理解し、聴覚障害者との場面によってはコミュニケーション手段や簡単な手話による会話の実践を行う。							
【到達目標】 テキストの内容に加え、空港やホテルにてトラブルが起きた際説明に使う手話表現を学ぶことができる。							

授業計画・内容	
1回目	表情豊かに、具体的に手話を表す ①表情・強弱・速度を工夫して手話表現ができる。
2回目	表情豊かに、具体的に手話を表す ②具体的表現(様子や形)を工夫して手話表現ができる。
3回目	表情豊かに、具体的に手話を表す ③具体的表現(動き)を工夫して手話表現ができる。
4回目	主語を分かりやすく表す ①位置・方向(一対一)を工夫して手話表現ができる。
5回目	主語を分かりやすく表す ②位置・方向(この場にはいない第三者を含んで)を工夫して手話表現ができる。
6回目	主語を分かりやすく表す ③役割の切り替えを工夫して手話表現ができる。
7回目	主語を分かりやすく表す ④指さしを工夫して手話表現ができる。
8回目	空間をうまく使って表す ①左右・前後の空間活用を工夫して手話表現ができる。
9回目	空間をうまく使って表す ②上下空間・指さしと視線の活用を工夫して手話表現ができる。
10回目	両手や指をうまく使って表す ①同時性を工夫して手話表現ができる。
11回目	両手や指をうまく使って表す ②指の代理的表現を工夫して手話表現ができる。
12回目	繰り返しの表現を工夫して手話表現ができる。
13回目	意味に合った手話を工夫して手話表現ができる。
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	手話講座をうけて下さって、ありがとうございます。街中に英語・韓国語が広がっていますね。手話も広がると嬉しいです。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう	

科目名 (英)	中国語 Chinese	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	エアライン科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 月曜2限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につけさせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、資格の取得は将来の就職、仕事現場に役立つため、1年生全員にHSK中国語検定試験に挑戦してもらいます。普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明し、クラス全員で楽しく勉強できるように、授業を確実に一歩一歩進めます。

【到達目標】

グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来仕事現場の中国観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいきます。HSK中国語検定試験にも挑戦し、全員で合格できるように皆で頑張ります。

### 授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。	
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。	
3回目	自己紹介が流暢にできる。検定試験範囲の文字、文法を習得し、練習問題に取り掛かることができる。	
4回目	簡単な空港用語、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検過去問題を部分的に解くことができる。	
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。	
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。	
7回目	5月の勉強内容を復習し、自己チェックをしてから、身につけなかった部分を補うことができる。	
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。	
9回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。	
10回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。	
11回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。	
12回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。	
13回目	最終的にまとめ、自信を持って試験に向かうことができる。	
14回目	★評価週	
15回目	★まとめ・追試/再試	
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業態度(30%)</li> <li>●小テスト(20%)</li> <li>●定期テスト(50%)</li> </ul> 割合で成績評価を行う。	
受講生への メッセージ	<p>ご入学、おめでとうございます。自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。</p> <p>中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。</p> <p>授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。</p>	

【使用教科書・教材・参考書】

市販新HSK検定試験問題集、会話プリント等

科目名 (英)	日本の伝統と文化(茶道)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	Japanese traditional and culture (Japanese tea)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エアライン科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 茶道裏千家の師範として、独自で茶道教室を開講。これまで多くの生徒に茶道の侘び寂びを伝授している。茶道の文化だけでなく、茶道の作法をもとに和の文化を学ぶ。							
【到達目標】 和室の使い方、掃除の仕方を学び実践することができる。道具の名前やどのようにして作られているかを学び、日本の伝統技術を知ることができる。盆略点前を学び、招待客としての作法を実践することができる。							

授業計画・内容		
1回目	簡単なお茶の歴史を知ることが出来る。茶席での身だしなみ(服装・靴の脱ぎ方等)を知ることが出来る。	
2回目	襖の開け方・閉め方・お辞儀の仕方・立ち方・歩き方・座り方を知ることが出来る。	
3回目	道具の名称(漢字で覚える)帛紗の捌きかた・たたみ方・付け方を知ることが出来る。	
4回目	道具の扱い方を知ることが出来る。①	
5回目	道具の扱い方を知ることが出来る。②盆中の道具の配置	
6回目	盆略点前のパフォーマンスを知る。盆中の道具の扱い方①	
7回目	中間テスト	
8回目	盆中の道具の扱い方②	
9回目	薄茶を飲むときのお茶碗の扱い方・飲み方・懐紙を使ってのお菓子の取り方を知ることが出来る。(干菓子)	
10回目	薄茶の立て方を知る(実際に自分で点てみる①)	
11回目	薄茶の立て方の復習(実際に自分で点てみる②)	
12回目	薄茶を点てる人(亭主)頂く人(お客)に分かれて体験することができる。	
13回目	今までの総復習を行い、自身の成長を感じることが出来る。(生菓子)	
14回目	★評価週	期末テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	期末テスト返却・質疑応答・清掃
準備学習 時間外学習		
評価方法	中間テスト(50%)期末テスト(50%)	
受講生への メッセージ	日本の伝統と文化は皆さんが今後必ず継承して欲しいものです。茶道という日本の伝統的な文化から日本人の奥深さや言葉ではなくお花や掛け軸・一つ一つの動作で行うおもてなしを学び身に付け将来の夢に向かって頑張ってください。皆さんは素晴らしい才能と若さという可能性を持っています。それを大切にしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】		
特になし		

科目名 (英)	面接対策	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	エアライン科 グランドスタッフコース・キャビンアテンダントコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1・2限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国内大手航空会社にて客室乗務員として勤務後、大手飲食企業の人事部にて各層の教育指導・育成に従事してきた専任講師が、1年次に習得した自己分析を基に各々の志望職種とその適正にフォーカスし、説得力のある自己PRや志望動機を作成できます。また、模擬面接を繰り返し行い、口述スキルを磨いていきます。

【到達目標】

- (1) 自己分析の結果を用いて、強み、適正、能力、将来のビジョンを客観的に捉えることができる。
- (2) やりたい仕事、働きたい企業を徹底的に分析し、説得力のある志望動機へと導くことができる。
- (3) 採用試験合格のための応募書類を作成することができる。
- (4) 面接の実践練習を繰り返し行うことで、個別面接・オンライン・グループディスカッションの口述スキルを身につけることができる。
- (5) 就職内定取得者は、実用的かつ入社後役に立つ課題に取り組み社会人としての心構えを身につけることができる。

授業計画・内容

1回目	就職活動の進捗状況確認および航空業界の現状に対する考察ができる
2回目	明確な目標設定ができる (行動の見える化に取り組む) 就活スケジュールを作成することができる
3回目	志望職種・志望企業の研究を深め、説得力のある応募書類を作成することができる
4回目	志望企業の研究結果を発表することができる (目指す将来の展望を理解する)
5回目	説得力のある志望動機・自己PRを作成し、発表することができる
6回目	模擬面接にて表情・動作の確認ができる / 志望企業に応じた応募書類を作成することができる
7回目	模擬面接にて口述スキルを身につけることができる (一問一答) / 過去問に対してPREP法にて答えることができる
8回目	模擬面接にてグループディスカッションの進め方を習得することができる
9回目	模擬面接にてグループディスカッションの実践的な対策ができる
10回目	模擬面接にて履歴書を基にした質疑応答に答えることができる
11回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:就職内定先の企業研究
12回目	個人面接の対策ができる / 受験終了者:「合格体験記」記録
13回目	夏季休暇前の総括ができる 自己評価の発表
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試

準備学習  
時間外学習

評価方法

定期テスト 100%

受講生へのメッセージ

この一年をどのように過ごすかがとても重要です。プロフェッショナルな接客スキルを身につけるために、積極的に行動しホスピタリティマインドを育む楽しさを習慣化しましょう! 笑顔は周りの人を幸せにします。あなたの周りを幸せな人でいっぱいしてください。

【使用教科書・教材・参考書】